

舞鶴市文化振興基本計画の概要

	文化振興の理念	文化振興の6つの柱
市民が主体	すべての市民が文化を楽しみ、創造できるまち舞鶴	(1) 文化に参加する文化活動への参加、鑑賞、発表、支援など (2) 文化を創造する作品づくり、人づくり、まちづくり (3) 文化でつながる交流、連携、情報発信など
まちが主体	まちを誇りに思い、愛着が感じられる文化都市舞鶴	(4) まちづくりに文化を活かす美しく活気に満ちた都市の創造 (5) 舞鶴らしい文化を発信する地域資源を継承し育むなど (6) 文化の育つしくみをつくる条例に基づいた各主体の取り組みなど

市では、「心豊かに暮らせるまちづくり」を推進するため「すべての市民が文化を楽しみ、創造できるまち舞鶴」、「まちを誇りに思い、愛着が感じられる文化都市舞鶴」の実現に向け、平成28年4月に文化振興条例を施行。このたび同条例に基づいて、市の文化の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る「舞鶴市文化振興基本計画」を策定しました。

文化

市民とまちが主体の文化都市・舞鶴を目指して 文化振興基本計画を策定

文化振興の6つの柱を掲げ、文化振興に関する施策の計画的な推進を図ることを目的としています。策定にあたっては、市パブリック・コメント手続制度市民意見提出制度により、意見をいただきました。基本計画の概要は左上図のとおりです。

基本計画では基本理念を基に「市民」と「まち」が主体となり、文化振興の6つの柱を掲げ、文化振興に関する施策の計画的な推進を図ることを目的としています。策定にあたっては、市パブリック・コメント手続制度市民意見提出制度により、意見をいただきました。基本計画の概要は左上図のとおりです。

基本計画では基本理念を基に「市民」と「まち」が主体となり、文化振興の6つの柱を掲げ、文化振興に関する施策の計画的な推進を図ることを目的としています。策定にあたっては、市パブリック・コメント手続制度市民意見提出制度により、意見をいただきました。基本計画の概要は左上図のとおりです。

協定

舞鶴市と海上自衛隊 総合支援協定を締結

総監部の菊地聡総監、小座間善隆幕僚長、木下章管理部長ら、市からは多々見市長や関係者が出席。菊地総監と多々見市長が協定書に署名しました。



「市民であり、国を守るために活動されている隊員の皆さんには安心して任務に就いてほしい」と思っており、これからの取り組みに加えて新たに行う支援を含めた協定内容にしています。また、自衛隊が所在する自治体において、本市の取り組みに賛同され、全国の隊員とその家族の支援につながることを期待しています」と述べました。

教育

家庭・地域との連携強化 学校運営協議会を設置

市では、地域とともにある学校づくりを一層推進するため、小中一貫教育が導入された城北中学校区と加佐中学校区の小・中学校に、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置しました。

協議会は、保護者、地域教職員の代表で構成。子ども達の状況や課題を共有したり、伸ばしたい力や解決すべき課題について協議したりするなど、子ども達の教育環境の充実に向け、学校・家庭・地域の連携・協力体制の強化を図ります。今後、ほかの地域の小・中学校でも順次設置を予定しています。



健康

誰もが地域で健康に暮らせるまちへ 健康増進計画策定懇話会を設置

舞鶴市健康増進計画の中間見直しを行うため、「健康増進計画策定懇話会」を設置。7月6日、市役所で第1回会議を開催しました。

同懇話会は、計画を見直すにあたり、市民および専門家から幅広い意見を聞くために設置したもの。委員は学識経験者や専門家、市民公募など11人で構成。会議では、会長に岡本悦司・福知山公立大教授を選任。同計画の進捗状況や見直しの考え方を確認しました。今後、来年3月までに3回の会議を行う予定です。

- 委員の皆さんは次のとおり(敬称略)。
- ◆会長 岡本悦司
 - ◆副会長 杉岡秀紀(福知山公立大)
 - ◆委員 ◆指宿昌彦(一般社団法人舞鶴医師会)◆山下勝弘(京都府舞鶴歯科医師会)◆土佐和彦(舞鶴薬剤師会)◆荒堀由妃(中丹東保健所)◆林田智子(舞鶴市食生活改善推進員協議会)◆川上英明(舞鶴商工会議所)◆川上精一(舞鶴スポーツネットワーク)◆堀江祐嗣(市民公募)◆野尾松雄(市民公募)
- 《健康づくり課》

表彰

市内の企業7社 優良工事施工者表彰を受賞



模範となる優れた工事を施工した事業者を表彰する舞鶴市優良工事施工者表彰式を7月14日、市役所で開催。28年度に完成した市発注の入札工事174件から特に優れた7社に対し、多々見市長から表彰状が手渡されました。

- ◆最優秀賞 今村工業株式会社
◆優秀賞 ◆シンコー開発株式会社(土木一式工事)◆田中・大滝・シンコー特定建設工事共同企業体(建築一式工事)◆鶴美・総進・新和特定建設工事共同企業体(建築一式工事)◆株式会社永田建設水道施設工事◆株式会社サクライ◆コンストラクション(水道施設工事)◆鶴美建設株式会社(管工事)
- 《指導検査課》

引揚

工事期間中も休まず開館 引揚記念館の第2期工事



7月から引揚記念館の第2期工事に着工。平成30年春のグランドオープンを目指しています。同工事は、世界記憶遺産登録資料などの貴重な収蔵資料の保存・活用をさらに推進し、次世代の心に響き理解を深める展示の充実を図るため、平成27年のリニューアルに続き実施するものです。

今回の整備では、企画絵画展示室と収蔵庫の増築(410平方メートル)、抑留生活体験室の整備を行います。

《工事期間中の駐車スペースの縮小にご理解を》

第2期工事の期間中も通常どおり開館します。駐車スペースの縮小などで皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▶詳しくは、引揚記念館(☎68・0836)へ。